

■ドーピング検査違反

ドーピング検査違反が出た場合、罰金が科せられます。

その罰金につきまして、選手個人の負担になることが決まりました。

うっかりドーピングがないよう、くれぐれもご注意ください。

※LINE グループでもご連絡しています。 ご一読ください。

■チャレンジカード(抗議)

チャレンジカードは選手の個人払いにすべきではないかという意見が出され、継続審議となりました。

直近の世界選手権では、実験的に下記のように実施します。

✓ **試技判定に関する抗議**

選手の希望で行うのではなく連盟主導でコーチや審判員資格を持った者が抗議するかどうかを即座に判断して対応する。

そのため、連盟の責任として

チャレンジカード代金(1枚 100 ユーロ、約 13,000 円)は連盟が支払う。

✓ **直近の世界選手権での運用方法**

- ・選手に帯同して舞台上に上がるコーチ 1 名、
- ・アップ場に待機しビデオ映像で試技を見るコーチ 1 名、
- ・観客席で選手の試技を見るコーチ(または、審判資格を持つ者) 1 名

合計3名が、日本選手の試技を注意深く観察し、判定に疑義がある場合、舞台上のコーチに合図を送り、舞台上コーチが試技終了後 1 分以内にチャレンジカードを提出(=抗議を行う)。

※ルールでアップ場には 2 名のコーチ帯同が許されている。

※ルールで、抗議は試技終了後 1 分以内と決められている。